

# 第五校区 地域協働だより

発行 第五校区地域協働協議会  
発行責任者 中谷 隆子

## 防災減災訓練

11月23日(土)午前10時から第五小学校グランドにおいて校区の皆さんを対象に防災減災訓練を行ないました。

近年、日本全国あちこちで甚大な被害をもたらす大災害が発生、我々も他人事ではないと危機感を募らせている昨今での訓練とあって参加された方は和やかな雰囲気の中にも真剣に体験訓練に取り組みました。給水訓練では「重たいけど家まで持って帰ります。これも訓練や。」と言って水を背負っていた女性、防災倉庫の前に展示していた段ボールベッドも人気で「避難所にこれ置いてくれたら楽やなあ。」と真剣に見ていたお年寄り、AED訓練では「これやったら私でも出来るかも知れん。」と自信をのぞかせていました50歳代の女性、地震車体験訓練では、「震度7を体験させてもらったけどすごい揺れやった。」「震度6弱であんなに揺れたらウチの家やつたらペしやんこや。」とほとんどの人が驚き、煙道訓練では、「何も見えへん、真っ白や、本当やつたら煙を吸うて死んでしまうなあ。」と煙の怖さを実感、さらに消火訓練では「火が小さい間に消すために手順を間違わないようにせなあかん。」と自問自答する参加者などがおられたのが印象的でした。

安全安心部会長 石川伸哉



## 夏まつり

今年は、盆踊り大会から夏まつりと名称を変えて8月3日(土)に行いました。市長の挨拶から始まったお祭りは好天にも恵まれ、子供たちのいい思い出となりました。

子供たちのダンスや和太鼓演奏の後、模擬店・ゲーム・盆踊りで盛り上がり、クライマックスの抽選会では、景品をもらえた子、もらえなかつた子、悲喜こもごも。昨年よりも参加者が多く、模擬店も各店完売でした。



## 「スケアードストレート技法による自転車交通安全教室」

11月21日(木)に六中グランドで第2回交通安全教室を開催しました。スケアードストレートとは、実際に起きた交通事故の模様や事故につながる危険な行為、事故の発生しやすい場所や状況を再現しプロのスタントマンがその場で実演して見せることです。以下に、参加者の感想文を掲載します。

「これは本当に起つた事故を再現したものです。」司会の方々による実際に起きた事故の再現はとても迫力があり、思わず目をそむけそうになりました。私は時速四十キロはそこまで速くはないだろうと思っていましたが、実際に見ると想像以上に速く感じました。そして、車と当たった自転車がゆがんでいるのを見てすごく怖いなあと思いました。大型トラックの内輪差や死角については2年生のとき保健体育で学習しましたが、実際に見たことがなかつたので危険性を肌で感じました。

私たち中学生は普段からよく自転車に乗るのでルールを守る大切さを学べて良い機会になったと思います。それとともに、みんながルールを守って交通事故がなくなればいいなと強く思います。

六中三年生

普段から気をつけ運転することが大切だと改めて考える機会となつた。

六中三年生

自転車安全教室では、実際に車や自転車がぶつかりそれをみて危険な目にあわないようにならうというものだったけど本当に死んでしまうのではないかと思うくらいすごくてびっくりしました。一度とあんなものを見たくないし出合いたくないと思いました。

五小六年生

私は先日の自転車講習会で改めて乗り物のルール違反の危険性を学ぶことができました。

スタントマンの方々による実際に起きた事故の再現はとても迫力があり、思わず目をそむけそうになりました。私は時速四十キロはそこまで速くはないだろうと思っていましたが、実際に見ると想像以上に速く感じました。そして、車と当たった自転車がゆがんでいるのを見てすごく怖いなあと思いました。大型トラックの内輪差や死角については2年生のとき保健体育で学習しましたが、実際に見たことがなかつたので危険性を肌で感じました。

私たち中学生は普段からよく自転車に乗るのでルールを守る大切さを学べて良い機会になったと思います。それとともに、みんながルールを守って交通事故がなくなればいいなと強く思います。

六中三年生



## 黒田クロ氏講演会



## 「縁」に気づくコツは「意識」

12月14日(土)午後、東北コミセンで漫遊書家黒田クロ氏をお招きして、福祉委員会との共催で講演会を開きました。黒田氏は全国各地で講演され、弟子と名乗るファンも多く、今回も期待通りの楽しいお話をされましたので少し紹介しましょう。

「こころ」はどこにある?「自分」って何? 考えたこともない質問が飛んでくる。

2人向かい合って両手をつなぐと一方が上、他方は下から受ける形になる。上はついていく人、下は引っ張る人。どちらがいいでなく、そういう役割で社会が成り立っている。

過ぎたことと相手は変えられないが、これからと自分は変えられる。

喜びも悩みも多くは人間関係にあり、見えない「縁」にどう気づき、活かして感謝できるか。「意識」しないと気づけない。などなど。

この世に生まれる事さえ奇跡的確率と言われているのに、同じ時間同じ場所を生きる私たちには何かしらのご縁があるはずです。そう意識して周りを見ると、どなたにも声をかけたり、微笑みたりしますよね! 講演会にお越しくださったみなさん、ありがとうございました!

災害時備蓄品を整理しました!!



五小校内7月14日(日)



## 編集後記

年間2回発行の広報紙なのですが、毎回悪戦苦闘をしてなんとか期日に間に合わせているのが現状です。どこかに楽しい記事はない?何かトピックスで載せられることは?なかなか見つかりませ~ん。でも次号からは少し親近感をもって読んでいただける企画をお金の代わりに温めています。